

# 女性とジェンダーの歴史

第9号  
2022.2

## 特集 『家族の命運』を論じる

- 趣旨説明 竹内 敬子 (1)
- ジェンダーと階級研究からのコメント  
—『家族の命運—イングランド中産階級の男と女 1780~1850—』に寄せて— 木本喜美子 (3)
- 古代ギリシア史からのコメント  
—『家族の命運—イングランド中産階級の男と女 1780~1850—』に寄せて— 小山田真帆 (10)
- Re-visiting *Family Fortunes* Catherine Hall (16)
- 古典を読み継ぐ—研究指導の中の『家族の命運』— 山口みどり (21)
- 『家族の命運』がもつ射程—日常生活の言葉と学問世界の言葉— 梅垣 千尋 (25)
- 『家族の命運』をめぐる回想—あるエゴ・ヒストリー— 長谷川貴彦 (28)

## 論文

- 20世紀転換期英領植民地ラゴスの現地人教師に関する研究  
—教師資格に現れる男女差に着目して— 太田 淳平 (31)

## 特別企画：クロスオーバー書評

- 新書における歴史叙述をめぐる  
小関隆著『イギリス1960年代—ビートルズからサッチャーへ—』(中公新書、2021年)、  
金澤周作著『チャリティの帝国—もうひとつのイギリス近現代史—』(岩波新書、2021年) を読む  
小関 隆・金澤 周作 (46)

## 研究会の記録

- 近代イギリスの生活協同組合—教育と女性たち— 浮網 佳苗 (58)

## 書評

- 亀口まか 著  
『河田嗣郎の男女平等思想—近代日本の婦人問題論とジェンダー—』 梅垣 千尋 (60)
- 岩下誠・三時眞貴子・倉石一郎・姉川雄大 著  
『問いからはじめる教育史』 杉原 薫 (62)
- メアリ・ウルストンクラフト 著 (清水和子・後藤浩子・梅垣千尋 訳)  
『人間の権利の擁護／娘達の教育について』(近代社会思想コレクション 29) 岩下 誠 (64)
- 沢山美果子 著  
『性からよむ江戸時代—生活の現場から—』 倉石 一郎 (66)
- 三神和子・小池久恵・丸山協子 編著  
『わたくしを生きた女性たち—二〇世紀のイギリス女性評伝集—』 水尾 文子 (68)
- 小倉孝誠 著  
『逸脱の文化史—近代の〈女らしさ〉と〈男らしさ〉—』 金子 幸男 (70)
- キャロル・ペイトマン 著 (中村敏子 訳)  
『社会契約と性契約—近代国家はいかに成立したのか—』 川津 雅江 (72)

イギリス女性史研究会